定價 一ケ月壹圓 一部五錢 郵稅一ケ月拾五錢
廣告 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

南北兩支を擧げて一大混亂の渦

六中全會開會式後 汪精衛氏突如射たる
張繼氏等二、三委員も輕傷
動搖の色全市に漲る

【南京發至急報】今朝九時二十分六中全會開會式後蔣介石、汪精衛兩氏を中心に百三十名の政府委員が大禮堂前にて記念撮影に入らんとする刹那突如一名の暴漢現れブローニング拳銃を亂射し一大混亂に陷り汪氏は重傷を負ひ生命危篤、張繼氏その他二、三の委員は輕傷を負つた

【南京國通至急報】六中全會暴漢襲擊の報傳はるや動搖の色全市に漲り時を移さず戒嚴令に入つた

犯人は南京政府の下級官吏

（南京發至急報）六中全會襲擊犯人は南京政府下級官吏らしく容疑者數十名は直ちに逮捕され目下嚴重取調べ中

午後一時遂に逝去

（南京國通至急報）汪精衛氏は一日午後一時五分中央病院において遂に逝去した

汪精衛氏

汪氏略歷

汪精衛氏は一八八五年廣東省の生れ、日本法政大學に留學中孫文の門に入り卒業後歸國中國同盟會の機關紙（民報）記者として革命思想の宣傳に努む、一九一一年には淸朝の攝政王載灃の暗殺を企て死刑の宣告を受けたが肅親王に惜まれて死一等を減ぜられ第一革命後釋放さる、同年上海における南北講和會議に參與して活躍、茲に袁世凱と孫文を握手せしむ、一九一三年第二革命失敗後渡佛社會學、文學を研究、歸國後廣東軍政府最高顧問、總參議、國民黨中央執行委員に歷任、孫文の死後胡漢民と共に國民黨の中心となり一九二六年蔣介石と意見衝突して廣東を去り外遊す、翌年國民政府に迎へられ中央特別委員會委員、政府、軍事委員會、外交委員會各委員に就任その後外遊の途に就いたが一九二九年祕かに歸國し反蔣運動を起したが目的を達せず一九三二年孫科の後をつけて初代行政院長に任じ次いで鐵道部長を兼任、所謂蔣汪合作政策を組織せり、その後張學良の滿洲回復に對する怠慢を理由として張の辭職を强要自らも官職を辭すと稱し上海に去つたが蔣の慰留により政府より退き黨中央執行委員會常務委員として政府を支持する事となり、その後再び國民政府行政院長兼外交部長に就任し親日政策によつて日支提携を企圖せるも蔣一派の反對のため容れられず政府部內の反日派の暗躍のため今夏辭意を固め政府よりの引退を表明せるも結局蔣介石の慰撫により留任今日に至つたものである

詳報

【天津一日發國通】北平民衆のデモに關する其後の詳報によれば一日午前六時より七時にかけ北平各城內五ケ所に附近の民衆約六千が集合し袁良市長の惡政を指摘し斷然排擊せよと記した傳單を撒布しつゝ午前十時十分平津衛戍司令部に赴き代表は宋哲元氏に面會右傳單趣意書を手交したと

五全大會を口實に 北支問題交涉を遷延せんとす
日本側支那側の申出を一蹴

【南京卅一日發國通】唐外交部長は卅一日朝日本總領事館に須磨總領事、雨宮駐在武官を訪問し一日より六中全會、續いて十二日より五全大會が擧行されるを以て北支問題に關する交涉は五全大會が終了する迄猶豫されたいと懇請する處あつた、之に對し須磨總領事、雨宮武官は川越總領事の發したる抗議並に駐屯軍當局の警告は南京政府その他の都合に依つて放置し得るが如き性質のものに非ずと即座に支那側の申出を一蹴した、右の如く支那側の不誠意極まる遷延策には今更乍ら驚く外なくかゝる態度は日本當局の心證を痛く害したものゝ如く却つて日本側の態度を硬化せしめるに至るであらうと見られてゐる

加藤寛治大將 後備役に

【東京國通】加藤寛治大將は豫て後進に道を開くため辭意を表明してゐたが國際情勢のため許されず今日に至つたが二日を以て滿六十五歲の停年に達するので一日附を以て後備役に編入されることゝなつた

軍事參議官海軍大將從二位勳一等功三級 加藤寛治
後備役編入被仰付

軍縮會議の隨員內定

【東京國通】軍縮會議陸軍側代表に駐英大使館附武官步兵大佐丸山政雄、參謀本部附砲兵大佐鈴木率道の兩氏が內定した

軍縮代表の外務側隨員を外務首腦部で詮衡して居たが文書課長山形淸、軍編課勤務員井上孝治郎の兩氏が派遣に決定した、尙兩氏は全權任命と同時に發令されるが兩氏の外電信、會計、情報關係屬官各一名が派遣される豫定である

北支五千の大衆 大デモを開始す
藍衣社側の逆襲

（天津一日發國通至急報）本日午前十時十分天津某機關に入つた入報に依れば目下北平に於て約五千の大衆が天橋より衛戍司令部に向けデモを開始し不穩化するに至つた、右は藍衣社側の逆襲と觀られてゐる

益す惡化の模樣 我が駐屯軍緊張

（天津一日發國通至急報）北平衛戍司令部に對するデモは益々惡化の模樣で北平は爲めに重大化せんとしてゐる、駐屯軍では場合により斷乎たる對策を講ずるやも知れず目下頗る緊張してゐる

平津衛戍司令に外交處設置の聲
宋哲元出馬せん

【北平一日發國通】軍事分會の撤去により中央直屬機關皆無となり、北支に於る總括的對外政治機關として平津衛戍司令部に外交處を設置の聲有力であり、宋哲元氏の出馬は益々確實となつて來た

公安局傍觀

【天津一日發國通至急報】北平のデモに對し公安局は傍觀の態度にて何等鎭壓に努めて居ない模樣である

宋を中心に北支新政治形態出現か

【北平一日發國通】日本側の要求を機として北支には宋哲元氏を中心とする新らしい政治形態が出現、排日運動の取締り並に責任の明確化と北支及び蒙古の赤化共同防衛が具體化せんとする形勢にある、而して之には閻錫山氏の參加は同氏の對中央關係並に對共に寧日なき今日望めないので將來五省聯盟へ進む足場として一先づ河北、察哈爾二省を聯繫する自治地帶が出現する筈である

その他の遭難者

【南京一日發國通至急報】支那側發表によれば負傷者左の如し
△重傷 汪精衛
△輕傷 甘乃光 張繼 陳公博

伊軍ゴラヘイを占據

【モガデシオ卅日發國通】グラチアーニ將軍のイタリー南軍は逐次北上二十九日夜來土民軍と協力エチオピヤ軍との間に凄慘な白兵戰を演じた後遂にゴラヘイを占據したと傳へられる但しまだ確報はない

大連市長 丸茂氏に決定

【大連國通】大連市長小川氏は滿期退任したので後任として元岩手縣知事丸茂藤平氏が協議會で決定した

大村副總裁歸連

卅日の關東軍との懇談會に出席のため來京した大村滿鐵副總裁は一日午前九時發「はと」で歸連した

滿鐵兩理事離京

滯京中の宇佐美、河本兩滿鐵理事は昨三十一日午後八時發列車で南下した

川岸本部隊長 全快

【承德國通】過般赤峰に於て演習教練巡閲中負傷し承德衛戍病院に入院加療中であつた川岸本部隊長はその後經過良好で病院內で執務中であつたが患部も殆ど全癒したので、卅日退院、卅一日は司令部內記恩堂に於ける退院祝ひの會食に久々で元氣な姿を現はし幕僚を安堵せしめた

協和會縣聯合會 けふから一齊に
地方民衆の自力更生に拍車

縣公署當局と協力して地方民衆の自力更生をはかる滿洲國協和會縣聯合會は一日午前九時から撫順縣聯合會を皮切りに開催された、中央事務局から平島次長、奉天省事務局から韋局長、矢部事務長、辦事處主事、縣內分會代表約百名並に縣公署から參事官、警務指導官等首腦部が出席、各分會提案事項について協議される筈であるが、地方民衆の要望の地方的解決による一般民衆の更生が期待されてゐる、なほ中央事務局長張燕卿大臣は縣聯に對し次の如き訓詞を達示した

訓詞

建國以來三年有餘我か國運は正に日進月歩、燦然東亞に光を放つ現狀なりと雖も、舊軍閥政權の餘毒を排し、建國の理想を完成せんには、能く擧國一致、官民一體となり、以て百年隆盛の基を築かさるへからす

我か協和會か本年度より縣（市旗）聯合協議會を實施するは、王道政治の眞髓にして協和會運動の精華たる宣德達情工作の實績を更に顯著にし國內建設の步程を鞏固たらしめんとするものにして其の要は、縣（市旗）公署當局と力を併せて、民隱を明にし施政を暢達し地方開發、民衆啓蒙の方策を協議し、地方民衆をして自力更生よく國家磐石の因を造らしむるにあり。

本協議會に列席の諸氏は實に一般民衆の代表にして指導者たり。

建國の大義を弘め、地方自治の美風を馴致するは懸りて諸氏の人德と達識にあり。

宜しく思を國運の將來と諸氏双肩の重責に致し、愼重よく本協議會をして有終の美あらしめよ。

本協議會使命の大なるに鑑み、其の成果に期待し、茲に一言所懷を述へて以て訓詞となす。

康德二年十一月
滿洲國協和會理事長 張燕卿

社告

一日は熱田神宮遷座祭に祝意を表し午後休業、隨つて二日附朝刊を臨時休刊致しますから御諒承願ひます

新京日日新聞社

田路部隊長 前線へ出發

【チチハル國通】病を得てハルビン衛戍病院に療養中であつた澁谷本部隊の田路部隊長田路大佐は此程全快したので明一日退院、直ちに吉林方面に活躍中の同部隊に赴く事となつたが、入院中淸田少佐、伊藤、梅鉢兩大尉等多數の勇士を喪ひ無念骨髓に達する同大佐を始め各將士は無き部下の弔合戰を前に勇躍出動準備中である

澁谷本部隊の討匪狀況

【チチハル國通】秋季大討匪陣の一翼を擔當する澁谷本部隊は討匪行中次の如き戰鬪を行ひ敵匪を擊滅した

一、及川部隊服部〇隊は卅日午前十時頃德都西北方卅五キロ帽子山門近の山中で平康德匪卅名と遭遇之を擊滅せしめた、我方損害戰死伍長小林留夫、一等兵中村宗衛門、重傷一等兵豐田義彌

二、及川部隊三浦〇隊は卅日午前六時半拉哈站東北方十六キロの地點で仁和匪卅と交戰、之を包圍して全滅せしめた、敵の遺棄死體廿一 我方損害戰死上等兵山田定明、一等兵川村長太郎

匪首金局好 列車中で逮捕

【吉林國通】吉林地方治安維持の重責を負ふ在吉林日滿各警備機關を打つて一丸とする省城警戒班は日滿軍警の討匪工作の進展により奧地を失へる大小匪團が省城に殺到する形勢あるを知り極力警戒中であるが三十日午後六時四十六分着列車內に擧動不審の二滿人を發見嚴重取調べの結果右は民國生れ匪首金局好こと本名陣正中（四七）といひ彼は本年六月下旬間島省延吉縣六道溝に蟠居中の紅玉救國軍大隊長三好及び天合の勸誘をうけて同軍に投じ副團長として自ら五十餘名を率ひ間島吉林安東各省境及び附近一帶を横行今日まで前後五十數回に亘り掠奪、暴行、殺人、人質拉致等總ゆる不正を逞うしてゐたものであるが最近日滿軍警の急追に遂に所在を失ひ卅日六道溝より部下一名を伴ひ京圖線列車に乘込み來吉、更に率吉線に乘換へ東邊道方面に逃亡せんとして果さず逮捕されたものである

潜伏中の匪首團を奇襲
永吉縣警察隊の殊勳

【吉林國通】日滿軍の肅正工作に協力しつゝある永吉縣警察隊陳林坡小隊長の率ゐる步兵第一小隊〇〇名は永吉縣孫家屯集團部落建設用材運搬警備の任務を帶び卅日午前九時孫家屯東北方八滿里二道溝部落通行中日滿討伐隊の急追より逃れて今後の對策を協議すべく占東洋、五龍、陸林好以下十餘名の匪首が附近農家に潜伏、密かに頭目會議開催中なるを知り好機を逸せず一齊攻擊を開始したところ頭目連は周章狼狽抵抗を試みる暇もなく此奇襲は大成功を收め占東洋、陸林好兩名は其場に射殺されたが、之が爲生殘つた各頭目は身を以て老爺嶺方面の密林地帶に逃れ去つたが、右の內占東洋は今夏繁茂期以來部下百餘名を率ゐ樺樹、舒蘭、額穆各縣地方を横行してゐた不敵の匪首である

故朱司長告別式

故外交部總務司長朱之正氏の告別式は一日午後二時より般若寺に於て大橋外交部次長葬儀委員長となり嚴かに執行された、張總理をはじめ各部大臣日本側より西尾參謀長其他各要人等約五百名參列し盛大を極めた

本社辭令

桃北好澄（十月一日附）
柴田舜三（十月二十九日附）
中國義淳（十一月一日附）
右入社

營業局長 下村豐吉
退社（十月卅一日附）

人事往來

▲平春美氏（英國ニユートン社員）三十一日午後來京國都ホテル
▲武野與三郎氏（古河電氣社員）同
▲中山保之氏（中山銀業所）同
▲竹本武雄氏（軍人）同
▲後藤亨氏（滿洲中央銀行造廠技術員）同
▲草野松雄氏（敦化副領事）三十一日午前敦化へ
▲中富貫之氏（航空會社重役）同午後奉天へ
▲松岡洋右氏（滿鐵總裁）三十一日午後發大連へ
▲板垣少將（關東軍參謀副長）同
▲丁鑑修氏（實業部大臣）同 歸京
▲星野直樹氏（財政部總務司長）同
▲大村卓一氏（滿鐵副總裁）一日午前發大連へ
▲松田義雄氏（朝鮮銀行副總裁）三十一日午後來京ヤマトホテル
▲石橋定男氏（東京會社員）同
▲櫻井慶八氏（東京、官吏）同
▲中津川次郎氏（味の素會社員）同
▲北川和一氏（同）同
▲甘粕正彥氏 同
▲柿沼實氏（奉天シンガーミシン會社員）同
▲玉田俊顯氏（住友保險會社員）同
▲鶴五郎氏（富士電機會社員）同
▲渡邊文平氏（撫順セメント會社員）同名古屋ホテル
▲丸山聖太郎氏（同）同
▲中川重隆氏（滿鐵社員）同
▲中村太郎氏（福昌公司）同
▲森坂孫人氏（北陵組）同
▲且睦良氏（奧城金鑛會社重役）同
▲淸水長郷氏（楚山金鑛會社重役）同
▲首藤勝次郎氏（東京、出版業）同
▲池田政雄氏（播磨造船所）同
▲村井弘光氏（前大阪商船出張所長）二日午前九時出發

兩替の不便もなく乘客には惠まる
新京驛では既に實施中
國幣併用の響き

日滿通貨統制方針に基づき滿鐵で國幣併用制が實施される結果、鐵道の旅客運賃、食堂車その他の現金受拂ひも從來國幣を一々金票に兩替の上でなければ用を足さなかつた旅客の不便も當然除かれるわけであるが、右について稻川新京驛長は語る

未だ本社からは何らの指令にも接してゐませんが、さきに國幣對金票がパーになつた結果、當驛では乘客の便宜を考へ、わざ〳〵兩替の必要なく、國幣でも一向差支ないことにしてゐます尤もこれは乘客の便宜のためで別に公示したものではない、從つて國鐵の方でも別に國幣でなければ間に合はぬといふわけではなく、金票でも結構です、本社の方針が傳へられるやうにこれを公けに認めることになれば、當然此方にも指令があり、一般にも公示することになりませう

なほ右兩替の必要がなくなつた結果直ちに影響を受けるのは新京驛構內その他の兩替店で相當な打擊であらうと見られてゐる

パー換算の指令

なほ右について伊藤新京鐵道出張所長は語る

二十九日本社から國幣を受け取る場合パーをもつて換算するといふ意味の內容の指令は來てゐますが國幣をそのまゝ無制限に受取つても宜しいといふことは聞いてゐません

長春懷古の會
愈よ明夜曙で
列席者四十名突破

古くから新京に住んでゐた人々の長春懷古の會は愈よ二日午後六時から三笠町の料亭曙で開催する、曙の經營者後藤作氏は長春料亭の草分けであるところから同家が會場に選ばれた、奉天に出來た長春會からも態々來會する人もあり既に申込四十名を突破盛會が豫想されてゐる

自由競爭防遏へ
運動具屋戰線異狀

運動具商店戰線異狀あり……

建國以來新京のスポーツ界は著しく

發展

するにいたつたがこれとゝもに運動具商店も增加するにいたつた、事變前までは僅か渡邊西山兩店で運動器具をみたしてゐたのが建國と時を同じくして文海堂商店が生れ更に本年シーズンを前に三協商店が開店しこの四軒が鎬を削り日滿體育關係へ販路の重點を置き競爭をつづけてゐたところ最近奉天のスター商店が

進出

したので從來の新京四商店ではこれは大變と直に各店主が協議しスターを加へ新京運動具商店組合を組織し大連、奉天內地からの進出同業者防止策を講ずるとゝもに器具定價の協定を圖つたところが今度奉天隨一を誇る增田商店が進出せんとしこれが下準備に店員を派遣し各關係者を訪問販路を切開かんとして運動をなすにいたつたがこれを知つた組合員は

外部

からの進出者に敗けてはならずとこれまた滿鐵、滿洲國の體育關係へ器具賣込みの猛運動を開始してゐるがいづれにせよ器具を求める方では良い品を安く手に入れるのが主であるため猛烈な運動が續けられることは明かである

滿鐵魂作興の集ひ

社歌も高らかに
滿鐵魂を呼起す
今朝新京神社前のつどひ

滿鐵魂作興運動の初日、一日午前六時三十分在京滿鐵社員約六百名は社員會各分會旗を先頭に新京神社に集合參拜して精神作興宣誓式に移つた、諫山修養部長の開會の辭についで武田聯合會長が聲明書、宣誓文を朗讀し引續いて武田會長は將來とも層一層滿鐵の負ふ大使命の達成に努力されたいと式辭を述べるところあり澄みきつた秋空に聲高らかく滿鐵社歌を唱ひ七時三十分閉會し、直ちに國旗掲揚式に參列した

國恩感謝の國旗掲揚式愈よ旺ん

精神作興運動が大衆に呼びかけられるとゝもに月々の新京神社における國恩感謝國旗掲揚式は月を重ねるに從つて盛會を極めるにいたつたが本朝の國旗掲揚式も六百餘名の滿鐵社員團體始め各中等學校生徒、一般市民續々と神社參詣を終へて南側式場に整列、野村社會主事の開會の辭の後商業學校ブラスバンドの吹奏裡に國歌合唱され大國旗は空高く飜つた、一同國旗に對し最敬禮、皇居に向つて遙拜が行はれ續いて植村神職から「熱田神宮還座祭に就いて」の講演あり七時五十分終了した

乘務員宿舍燒く

一日午前十時半頃新京驛隣滿鐵乘務員宿泊所より發火急報に接した滿鐵新京消防隊出動床板少々燒いたのみで同十時五十分頃鎭火した、原因については目下取調べ中

一九四〇年のオリムピック
愈よ日本に讓る
伊政府正式に發表

〔ローマ卅一日發國通〕イタリー政府は卅一日午前一九四〇年ローマに於てオリムピック大會を開催することを斷念、大會開催を日本体育協會に讓る旨正式發表した

八九分通り日本と決定
新京体協本野理事語る

一九四〇年の世界オリムピック大會開催につき伊太利政府は三十一日開催權を日本に讓渡するに決定したに對し新京體育聯盟本野理事は語る

伊太利が開催權を日本に讓つても必ず日本で開催が出來るとは確定してゐない、一九四〇年の大會開催は伊太利並に日本、フインランドの三國で開催運動をなしてゐたがこの開催は殆んど伊太利と決定してゐたものであるがその國が開催を中止し日本に讓ることを決定したのだから日本開催は幾分有利に展開される譯である、今後は日本とフインランドの競爭となるが先日山本博士が歐洲から歸途の話ではオリムピック委員長も伊太利が日本に讓れば開催は日本と決定する樣な話であつたから日本で開催は確實であらう、日本で開催されることは誠に結構なことである

あじあ延着で急行料拂戾

三十一日新京驛構內における貨物、列車脫線事故のため同日ハルビンゆきあじあは定時より二時間卅五分遲れて午前一時五分にハルビンへ到着したがハルビン驛では旅客に特急料金の拂戾しで大騷ぎを演じたが拂ひ戾し人員及び金額は百九名の二百六十一圓五十錢、內譯左の通り

一等七名四十一圓五十錢、二等二十二名七十五圓、三等八十名百四十五圓

奉祝菊花展
愈よ明日から
太子堂で催される

明治節奉祝、菊花展覽會は新京敎化聯盟主催の下に明二、三兩日午前十時から午後九時まで太子堂で開催される、出陳には西公園事務所吉田技術員、地方委員長崎兵次郞氏ら專ら斡旋に當つた結果、西公園を始め市中一般同好者から大小取りまぜて約三百點に上つてゐる、開會の曉は一般の好評を博するであらう

一夜二ヶ所に拳銃强盜

非常警戒線を突破し一夜に二ヶ所を襲つた拳銃强盜事件に首都警察廳を初め管內各署は血眼の大搜查を續けてゐる—三十一日午後十時三十分ごろ南關警察署管內吉林街十二號金白明方へ拳銃所持の二人組强盜犯人が押入り金品を物色せんとしてゐるを金の弟が發見し强盜々々と連呼したので突然の大聲に賊は驚き弟目懸けて拳銃二發を發砲し一物も得ず逃走した、屆出に接し南關署で直に非常線を張り犯人搜查中零時三十分頃程遠からぬ和順街東隆街六十號東記糧棧へ同樣三人組强盜が大膽にも押入り馬四頭時價三百圓を强奪逃走した、搜查本部では犯人は三十日午後五時ごろ孟家橋を襲つた犯人と同樣と睨んでゐる

街の回記

鄕軍聯合分會創立記念式

鄕軍新京聯合分會では三日の創立記念式に午後零時半から八島小學校で記念式を擧行、銃劍術軍刀術等があり祝杯をあげる

新京中學校武道小會

新京中學校では二日午後零時半から同校道場で武道小會を擧行する

帝キネの上棟式

合資會社帝都キネマは先に祝融氏に見舞はれ大損害を被つたが直ちに復舊工事に取りかゝり年內再開館をめざし來る三日午後三時を期し上棟式を擧行する

防護新發屯分團結團式擧行

新京特別市防護團新發屯分團結團式は左の式次により來る四日午後三時忠靈塔前廣場で擧行される

株式會社三中井地鎭祭

三中井新京支店では先に洋服裁縫工場を新築したが豫ての計畫である百貨店建設の機運に到達、設計等も終り愈々合資會社淸水組の手で店舖新築に着手することゝなり來る三日午後一時大同大街現場の地鎭祭を行ふ

あす（二日）

△奉祝菊花展覽會　午前十時から午後九時太子堂
△長春懷古會　午後六時曙
△新京中學校武道場開き　午後零時三十分
△宮坂勝氏個人展　向ふ三日間公會堂
△修身研究會　午前九時白菊小學校

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇淸元忍逢春雪解（へ三千歲）淨瑠璃淸元千歲太夫
▲七・二五漫才若しもお金を儲けたら（大阪）
▲七・四〇俚謠佐陀神能—松江より中繼
▲七・五〇熱田神宮御本殿還座祭實況（名古屋）熱田神宮神域より中繼

南大將のお孃さん
九日に擧式
新郞は實業部の高津君

豫て婚約中であつた南軍司令官の令孃寬子さん（二五）と實業部事務官高津彥次氏（二七）とのお芽出度の式は長岡總務廳長夫妻を媒妁に愈々本極まりに極まり、來る九日の吉日新京神社に於て行はれるに決した

寬子さんは將軍の三女、美術學校出身の趣味豐かなお孃さんとして知られ、高津氏は商大出身、嘗て松本商工大臣の秘書として才腕を認められた前途有望の日系官吏である

映畫もどき
匪賊大捕もの

各地討匪工作により大小匪賊は四散し續々新京附近に潛入せりとの情報に新京署では飛田司法主任指揮の下に刑事連は

晝夜

をわかたず活躍中のところ昨年十一月頃より新京附屬地隣接地に出沒し强盜掠奪をほしいまゝにせる賊の一團が南關方面に潛伏してゐるらしいとの聞込みに二田口刑事、呂刑事巡捕らは三十一日午後五時頃南關に到り萬興園飲食店に立寄つた處擧動不審の支那人を發見誰何するや矢庭に隱し持ちたる七連發拳銃を擬し襲ひかゝりこゝに映畫そのまゝの大格鬪を演じ漸くにして逮捕所持せる拳銃一挺と彈丸十四發を押收して本署へ引揚げ嚴重取調べると原籍吉林省伊通縣伊馬站生れ現住所同無職王財（三一）で正しく附屬地附近を荒した兇匪なること判明同人の申立により一味原籍山東省唐義縣城內生れ現住所吉林省伊通縣東街無職王連祥（三五）同山東省維縣歐家屯生れ吉林省伊通縣西小橋子屯無職王連存（三七）同錦州錦西縣生れ住所不定張文學（三〇）の三名が二道河子に潛伏してゐること判明、直ちに隱れ家を

襲ひ

一網打盡に取押へ徹宵取調べの結果昨年十一月以來附屬地隣接地で馬數十頭を掠奪或は强盜等其の被害數千圓に上つてゐるが取調べの進展につれ餘罪多數ある見込みである

天然痘發生

新京名物の一つに數へられる傳染病は四季をとはず發生患者の數を增してゐる、十月中に新京滿鐵傳染病院に收容された者が七十二名、內腸チブス卅三名を筆頭に赤痢十五名、猩紅熱七名、パラチブス六名、ヂフテリヤ五名、流行性腦脊髓膜炎三名、發疹チブス一名、天然痘一名である、天然痘一名は大和通四二長谷川淸深（四七）氏で同人は廿九日滿鐵病院に入院卅一日午後五時天然痘と決定し新發屯傳染病院に收容された、同氏は國都建設局土地科に勤務してゐるので天然痘と決定するや勤務先である建設局は滿洲國衞生隊員が急行し大消毒をなした、なほ同日祝町一丁目二二安加津ヤヱ子（一）さんは腦脊髓膜炎と決定收容された

白菊校の修身研究會

白菊小學校では二日午前九時から修身研究會を開催、吉林ハルビン、鄭家屯び南滿沿線各校から出席、午前は一二年三四年、五六年一時間づゝ授業午後研究會を開くことゝなつてゐる

新京商工會議所尾藤理事來社

新京商工會議所理事として哈爾濱商工會議所から來任した尾藤正義氏は一日挨拶に來社

岡田明大監督辭表を提出

【東京國通】慶應の腰本監督と共に名監督と謳はれてゐる明大軍監督岡田源三郞氏は二十日早明二回戰終了直後監督辭任を決意し突如同大學學友會長鵜澤總長に辭表を提出した、明大軍は優勝候補の呼聲が高いにも拘らず戰績不振の責を負ふと共に後進に途を讓るためだと觀られてゐるが、一部には職業野球團入りをするとも傳へられてゐる、なほ後任は谷澤助監督が就任する筈である、岡田監督は明大在學時代は正捕手として活躍、大正十二年秋から初代監督となり爾來十二年間選手の育成に努め今日の强豪明大軍を築き上げたものである

神宮大會野球
專修、立命勝つ

【東京國通】神宮大會大學野球戰は午後一時から神宮球場で早大先攻で開始、二A對〇で專大勝つ、閉戰二時三十八分

△スコア

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
專大	1	0	0	0	0	0	0	1	A	2A
早大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

日大對立命館の試合一時十五分から戶塚球場で日大先攻で擧行、十三A對七で立命館勝つ、閉戰三時四十分

△スコア

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
日大	0	0	1	0	0	0	0	2	4	7
立命	0	1	0	6	4	0	0	2	A	13A

天氣と氣温

明日の天氣　北西の風曇一雨時後晴
日の出　午前六時十六分
日の入　午後四時二十九分
月の出　午前十一時四十二分
月の入　午後八時五十五分
けふの氣温　最高十六度二　最低四度八

あすの番組

(M・T・O・Y 新京放送局) 二日(土曜)

(朝)
六、三〇 建國體操(滿語)
六、五一 ラヂオ體操(東京)
七、一〇 入港船の御知らせ(大連)
七、一五 中等滿語講座 講師 秋父固太郎
氣象通報
七、四〇 中等日語講座(奉天) 講師 近藤喜助
八、一〇 朝の音樂(大連)
八、三〇 經濟市況(東京)
九、〇〇 早晨演奏

(晝)
九、二〇 料理獻立(奉天)
九、四〇 經況市況(大連)
一〇、〇〇 家庭講座 國旗の知識 赤塚久子
一〇、二五 家庭メモ
一〇、三五 經濟市況(大連)
一〇、四〇 經濟市況(東京)
一〇、五九 時報(東京)
一一、四〇 ニュース(東京引續き新京)
〇、〇一 經濟市況(大連引續き新京)
〇、二〇 晝の演藝
〇、四〇 建國體操(滿語)
一、〇〇 白天演藝
一、一二 聽唱 琴 富貴
指日高陞 紘子 張福來
四紘 唐得祿
一、二〇 ニュース(滿語)
一、三〇 第八回明治神宮體育大會 陸上競技實況=明治神宮外苑競技場より中繼=
二、〇〇 經濟市況(大連)
引續き 第八回明治神宮體育大會 相撲實況=明治神宮外苑相撲場より中繼=
◉備考 後二、五〇市況の時間には中斷す
二、五〇 經濟市況(東京)
相撲 中止の場合は左を編入す

電氣修理と ラヂオは 加川 電話五九五一番

(夜)
二、〇〇 日用品値段(滿語)(大連市況に引續く)
二、四〇 下午演奏
三、〇〇 ニュース(東京)
三、三〇 經濟市況(大連引續き新京)
三、五〇 ニュース(鮮語)
四、三〇 ニュース(鮮語)
四、五〇 引續き演藝
五、〇〇 ニュース(英語)
五、〇〇 子供の時間(東京) お話 勳章 福永恭助
五、二〇 コドモの新聞
五、二五 氣象通報・番組豫告
六、〇〇 ニュース(東京)
六、二〇 今晩の番組・官廳公示
六、二五 政府公報(滿語)
六、三〇 國民の時間(滿語) 關於火藥類取締法令之公布 民政部警務司保安科長 谷次亨
子供と家庭の夕(東京)
六、五五 少年講談 新渡戸博士の堪忍袋 三浦學堂
七、一五 西洋の子守唄
昔の旅・今の旅 若葉和洋合奏團
七、二五 ラヂオ・コメディ いとけなき心をくらふ懷疑かな
八、〇〇 時事解說(東京)
八、三〇 時報・ニュース(東京)
引續き ニュース
八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告(滿語)
八、五〇 より左を編入す 少年少女合唱國際放送
八、五〇 國內アナウンス(東京)
九、〇〇 ベルリンより 少年少女合唱祭 =去る十月廿八日ジュネーヴ國際放送聯盟に於て行はれたる少年少女合唱祭を錄音せるもの=
一一、〇〇 終了

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番

今晩は東京からの子供と家庭の夕

◇……樂しいお話と唄とお芝居……◇

(後六・五五)

今晩の「子供と家庭の夕」は內地時間午後七時三十分(滿洲時間六時三十分)よりA・Kから「各地の守唄」を最初に夜長の家庭團欒に賑やかなプロが次ぎくに放送されますが、滿洲では時間の都合上「新渡戸博士の堪忍袋」から以下のプロが中繼放送されます、愉しい家庭への贈物を皆樣と一緒に鑑賞いたしませう

ラヂオ・コメディ いとけなき心をくらふ懷疑かな

作並演出 小崎政房
作詞作曲 嵯峨しのぶ

—配役(發聲順)—

山本勘助のお母さん 原秀子
勘助君 小柳ナナ子
小使さん 澤村い紀雄
勘助のお父さん 山口正太郎
校長先生 ムサシノ漸
小野勉君 明日待子
勉の母ちやさん 水野廣子
伯父さん 三國周三
勉の兄信一君 藤尾純

◇……(獨唱及合唱)……◇

八條鶯子
加美加那子
宮下昌子
北川美枝子
増田晃久
松川喜代治
石丸正吉
奈良好男
多郷英樹

擬聲……澤村い紀雄
解說……齋藤豐吉
伴奏 ムーランルージュ・オーケストラ
指揮伴奏……山本浩久
出演……ムーラン・ルージュ

ある小學校の門前です、授業のはじまる前ですが、少年山本勘助とその母親が押し問答をしてゐます、勘助はクラスの中でも一番成績の良い從順な生徒でしたが家が貧しいために中學へ行けません、受持先生は彼に向つて「こんな出來る子を本當に惜しい」と云ひました。勘助少年は小僧に出なければならないのです。そこでも學校へ行きたくないといつて今すねてゐるところです、そこへ勘助の父親もやつて來ますが、兩親は受持先生の輕薄な言葉をひどく非難しますが、そこへ校長先生が來て理由を聞いて納得します そして勘助少年も校長先生の一睨で教室へ入つて行きます。

◇……◇

さて次は裕福な小野勉少年の家庭です、勉少年は中學校の試驗をうけるために一生懸命で勉強してゐます。そこへ仲良しの勘助少年が遊びに來ます。二人は腕相撲などをしますが、勉强のために瘦せつかれてゐる勉少年はたわいもなく負けてしまひます。しかし勘助少年にとつては上の學校へ行ける勉少年が羨やましくてなりません彼はひとりでに淚ぐんでしまひました、そこで勉の兄信一にたとへ學校に行かなくとも總理大臣にまでなつた人もあるといつて勵まされ、再び元氣になつて家へ歸つて行きました。

和洋合奏 昔の旅今の旅

(後七・一五東京)

編曲 西村芳之助
若葉和洋合奏團
指揮 大越與四郎

天高く馬肥ゆ青空の秋は旅のシーズンです、皆樣も修學旅行や遠足で山や野にお出掛けになることでせう、今晩は昔の旅と今の旅の移り變りを和洋合奏でお聞かせいたします。

新渡戸博士の堪忍袋

後六・五五よりの少年講談 ▽……三浦樂堂

新渡戸博士が臺灣の殖產局長をしてゐられた時の話です農學博士東鄕實氏を隨員として臺灣地方を巡回中、或る宿へ泊りましたがこの宿は新渡戸博士が泊りつけの宿でありました。博士のお部屋を受持つた女中はお花さんといつて大變氣のよくつく年增の女でした、泊つた翌朝のことでした二人の膳部が運ばれたのを見ると二人とも味噌汁がお膳一ぱいにこぼれてゐました。しかし博士は一言の小言もいはず、お碗の蓋をとつて見ました。中にはお汁は入つてゐません。みんなこぼれてしまつてゐるのでした。

「ねえさんおつけの代りを持つて來てくれ、君もお代りをもらつたらどうだ」と東鄕さんに申しましたが、東鄕さんは「僕はいりません」と斷りました。やがて二度目の味噌汁が運ばれましたのを見ますと、これもまた大半はこぼれてゐましたが博士ばそのまゝお食事をすゝめられました。東鄕さんは「先生けふは臺灣であの女中が三ばいもおつゆをこぼすとはあんまり極端です」と申しますと博士は「あのおちついた女中があんな粗相をするのは何か深い譯があるに違ひない」と申しました。

果してこの女中は三人の子供の母でしたが、二人の子供は既に死に殘る一人が昨夜死んだので、同夜は悲しみのあまり一晩中泣き明かしたのだといふことがわかりました。東鄕さんは博士の人の心をよく察する點に非常に敬服されたそうです。

ベルリンよりの少年少女合唱祭

(後八時五〇分より)

少年少女合唱國際放送

ジュネーヴにある國際放送聯盟では青少年の合唱集放送を企て「國境を越えて若人は唄ふ」といふ、しやれた標題の下に去る十月二十八日深夜ベルリン放送局中繼で世界三十一ヶ國からの各國特有な合唱を放送した既報の如く日本放送協會にも參加の申込みがあり時間の關係上日本の分は豫め十月三日午後六時からルナ・オリオンコールによる「かぐや姬」を送信し、ドイツでレコードに錄音濟みとなつてゐたが日本放送協會で出しての國際音樂コンクールであるから放送價値は珍らしい大放送なのでこの錄音された三十一ヶ國全部のプロを今二日午後九時五十分から同十二時五分まで約二時間にわたり受信して國內に再放送することとなつた。何しろ英米獨佛伊歐米大國からラトビア、リスアニア、オランダ、ハワイ、オーストラリア、蘭印、シャム等に至るまで五大陸大小の各國が選りすぐつた少年合唱團を繰正に一〇〇パーセンといふところで、ベルリン放送局の協力を得て、AKでも每晩懸命のテストを行つて來たものである。殊に面白いのは日本からの「かぐや姬」が高橋邦太郎君の日佛語アナウンスに次いで、眞打格で最後にドイツから逆輸入されてくることだ。

【寫眞は上から日本、ノルウエー、ドイツ、フランス、リスアニアの各代表青少年合唱團】

※ ※ ※
※ ※ ※

誰が殺したか

(上映上海)　國枝史郎氏 外二　龍造寺瞻 畫

一二一 第一人　八五

「なるほどね、お前さん達あそんな不平を持てゐるのかね、さうかねえ」

正常は、ひどく感ずる所があるやうに聽き入つた。

「それで、俺は學問がねえから仕方がねえが、それで正直に泣き寝入となつてゐる者が、どの位あるか、知れません旦那なんざ、癪にさわつたから、短く太くつて、泥棒になつたんだけれどもね！」

「なるほどね」

「俺の様に、泥棒にもなれず死ぬこともできねえで、たゞ泣き寝入になつてゐる者は、それア可哀想なものですよ、ねえ、旦那！」

「さうだね！」

「所で旦那！こんな世の中は、いつ迄續くんですかい？……」

「さあ、いつ迄續くか？まああまり長い事もないだらうね……」

「さうですかね！だが、旦那、おれはもうからなつたからにや、首を縊るか、刑事につかまるかつてい事にきまつてゐるんですが、たゞ泣き寝入になつてゐる者の爲に！誰かなんとかして呉る人はゐませんかね？」

「さあ、それはゐるよ、其爲に刑務所へ入れられたりしてゐる者も、隨分ゐるよ！」

「さうですかね！えらいもんだなあ、えらいッ！」

屑屋は、感動のあまり、はねあがるやうに兩手を打ちあはした。

「所で、どうして父、あんたは死ぬ氣になつたんですかい？」

「僕は、親父と喧嘩をしてゐるんだ」

「へ、アなるほど……」

「それから、僕は何か仕事をしたい、世の中の爲にも働きたいとまでは思つても、僕にも、それだけの力がないんだ！」

「なるほど、意氣地がねえッてわけですね」

「だが、旦那！」屑屋は、不思議にあかるくなつた顔をあげた。

「ね、旦那！おれも、もう死ぬのをぶつつり、やめますから、あんたもやめなさい！」

「さあ、僕……？」

「おれはもう、ふんずかまつてもしかたがねえ、悪いこともしたんですからね……おれが今死んぢや、カ、アやガキが可哀想だ」

「なるほど、もつともだね」

「ねえ、旦那！あんたのやうにお父さんには、財産があり、食ふにも困らねえつて人が、なんだつて世のなかのために働かねえんですかい？」

「さあ……」

「お願ひだから、一つ、死んだ積りで、おれ達の様な、下積になつてゐる、貧乏者の爲に一肌ぬいでみては呉ませんかね！死んだ積りになつて、……」

屑屋の顔には、熱心さが漲つた

正常は、暫らく、うなだれて考へ込んだ。ふと、われにかへつたやうな元氣な顔をあげた。それは晴々とした明るい顔になつてゐた。

「さうだ！僕は自殺しようなんて、誤つてゐた！君の言葉で、僕はすくはれたやうな氣がする！」

「それぢやあ、死ぬのは思ひとまりますかい？」

「ありがたう！さうだ、死んだ死んだ氣になつてやれあ、何だつてできる！五十年の生涯を、生き甲斐あるやうに盡るのがほんたうだそれには、貧乏人のため、一生をなげだすのも、男らしい、か派な生甲斐ある仕事だ！」

「旦那！よくその氣持になつてくれましたね、ありがてい！」

正常は思はず、屑屋の手をかたく握つて、あたまをさげた。

「ありがたう！」

(この篇今野賢三作)

商況欄

(十一月一日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊　二九片一六分五
同 先限　二九片一六分一
紐育銀塊　六五仙八分三
孟買銀塊　六六留比六分九
米英爲替　四弗九仙二分一
米日爲替　二八弗七五仙
米支爲替　三一弗三七仙
スチール　四六弗四分一
アナゴンダ　二一弗八分三
英日爲替　一志二片一四分三
英支爲替　一三弗八分五
英佛爲替
印日爲替　休會

▲米棉
現物　一一仙四〇
十二月限　一一仙〇四
一月限　一〇仙八九
三月限　一〇仙八八
五月限　一〇仙八七
七月限　一〇仙八六
十月限　一〇仙六八

▲印棉
ブローチ　二一四留比
オームラ　一九六留比
ベンゴール　一〇九留比

▲市俄古小麥
十二月限　九八仙八分一
一月限　九八仙〇〇
三月限　八九仙八分七

▲カルカッタ麻袋
青筋　休會
鐵筋

▲上海爲替
▲日本向
第一回買賣　一〇七、五〇
第二回買賣　一〇八、〇〇
▲倫敦向
第一回買賣　一志三片一六分一
第二回買賣
第三回買賣
▲紐育向
第一回買賣　三〇弗八分七
第二回買賣
第三回買賣

九星

十一月二日 土曜　舊十月二十七日　壬午　佛滅　成　胃宿

●一白の人　利己心強くして自ら他の尊敬及信用を失ふ　丙と丁と庚が吉
●二黒の人　元氣潑溂として益々成績の向上を呈する日　壬と癸と丑が吉
●三碧の人　焦慮して手落ちを生ずる日慎重なるが安全　甲と乙と丙が吉
●四綠の人　元氣に任せて事業を擴ぐれば後には困憊す
●五黄の人　寛容にして他の晉を尊重すれば幸慶を招く　甲と乙と丁が吉
●六白の人　徐々と進めば障碍も自ら解消するに至る日　壬と癸と寅が吉
●七赤の人　些事も閑却せず業務の基礎工事に精進せよ　丙と壬と癸が吉
●八白の人　世話事も盡す丈盡すが吉後には報はるべし　庚と辛と壬が吉
●九紫の人　手に入りし物も何時しか抜け出る如し注意　庚と王と丑が吉　申と庚と辛が吉